

# おおはらぼん



## 季節感

島根県作業療法士会

副会長 楠田 敦子

今年も半年が過ぎた。この半年の間に少しでも成長した？歳をとっただけ？振り返ると「あっという間に過ぎた」感もあり、「いろいろな事があった」感も否めない。成長したのは体重だけ！歳は確実に取っている！利用者の皆さんからは「若いねえ〜」？と言われ少しいい気になっているかも。しかし毎日、利用者の方々の笑顔や言葉に励まされ、充実した日々を送ることが出来ている。感謝！感謝！である。

日々、送迎に出かけ、車から外の景色を見ていると、季節の変わりゆく姿を眺めることが出来る。利用者の方々を乗せているので自然と安全運転にはなるし、沈黙が続くのを避けるため、季節の話題や昨日のニュース、最新の話提供に心掛けている。「昔は…」という話題も欠かせないキーワードである。

桜の時期には、送迎に少し時間はかかっても、車の窓越しに桜を眺めて戴いた。「来年はみれないかも…」と話される利用者さんに「来年も見れるようにしましょうね！」と声をかける。「いい物を見させてもらった！」と自宅でご家族に話される様子。話題を一つ提供できた。

今年は梅雨を前に雨が少なく、田植えが終わった田んぼに水がなくて「今年は稲が出来ないかも…」と一緒に心配してみたり。自宅内にこもらず、外の景色に目を向けてもらったり、普段通らない道をたまに通ってみたり、「今年はアジサイがあちこちでたくさん咲いている」と報告を受けたりする。

先日は「おじいさんが畑に居るとカラスがやってきておじいさんの頭をつつこうとする。うちばかり見たい。」おじいさんは毎回やってくるカラスを一生懸命追い払っていらっしやる様子。「近所のおじいさんの友達も『お前のところはなんでこんなにカラスがくるかや？』とびっくりされる。」とカラスの話題で盛り上がった。（話ばかりに気をとられず安全運転してますよ…！）

施設内も季節感を感じていただけるよう、ちょっとした小物を置いてみたり皆さんからは季節の花々を提供して頂く。過日、大きな実のなったビワの木を持ってきていただいた。ビワの実の皮のむき方が話題になった。①木についていた側からむく方がむきやすい。②いやいやオシリ側（花がついていた方）からがむきやすい。皆さんはどうしてますか？

“これまで、何事にも無関心だった母が、利用するようになって、他利用者さんの話題についていけないといけないからと毎日ニュースを見たり新聞を読むようになった”とご家族から報告を受けた時は本当に嬉しかった。

今後も、季節感を感じていただける環境づくり、あれこれ話が出来る環境づくりをしていきたい。

一般社団法人 日本作業療法士協会

平成27年5月30日14:30~17:00  
財団法人日本教育会館  
一ツ橋記念ホール(東京都千代田区一ツ橋)

## 平成27年度 定時社員総会

今年より47都道府県委員会が協会内に設置され、作業療法に関わる課題に全国各士会で迅速に対処する体制の運用が開始されます。

「生活行為向上マネジメント」の普及を図るとともに、地域包括ケアシステムの構築に寄与するために、引き続き、対象者の身近な場所で作業療法の提供が可能となるよう体制整備を促進する重点活動項目が承認されました。

総会に先立って開催された厚生労働省老健局課長補佐村井千賀氏講演にもあったが世帯構成の変化、少子高齢化、要介護認定者の増加と認知症の増加など地域包括ケアシステムの構築は待ったなしであり、そこに作業療法士が活動と参加へ資する職種として介入することの意義を改めて感じる機会を得た。



協会は国に対して働きかけ、士会は直接的な県民、市民との接点である。

協会長は一人一人が作業療法の広報マンであると言われる。日々の臨床や地域への働きかけの大切さを今一度確認したい。

一般社団法人

日本作業療法士協会代議員(島根県)

一般社団法人 日本作業療法士協会

## 総 会

島根県作業療法士会

事務局長 小林 央

平成27年6月7日(日) 10:00~12:00 一般社団法人島根県作業療法士会総会が開催され平成27年度事業と予算の承認をいただきました。また、会費の納入方法について施設単位で取りまとめていただくようお願いし承認をいただいております。ご理解とご協力をいただきますよう紙面をお借りしお願い申し上げます。

今年度より地域包括ケア推進委員会を設置し文字通り地域包括ケアシステムの構築に向けて作業療法士会が取り組む体制の整備を開始します。勤務する病院や施設で作業療法を提供するのみならず、職能団体として地域へ働きかける役割が徐々に大きくなっていきます。

生涯教育制度の履修と会員の資質研鑽はもとより、県民に資する作業療法をどのような体制で提供できるか、地域包括ケアと生活行為向上マネジメントは私たちが直面する多くの課題に共通のキーワードとして散見されます。

限られた予算の中で企画する事業ではありますが、今会員に必要な知見を持てるよう理事会で協議し皆様にお届けしますので都度ご確認ください。



## 1) 平成27年度事業計画及び予算案

## I 平成27年度重点活動項目

## 平成 27 年度重点活動項目

## 地域包括ケアシステムにおける作業療法の普及と国際交流の推進

わが国の保健・医療・福祉の諸施策の動きは、2025年の地域包括ケアシステムの構築に向けて加速しているところである。一般社団法人日本作業療法士協会も地域包括ケアシステムの構築に寄与するために、引き続き、対象者の身近な場所で作業療法の提供が可能となるような体制整備を促進する。具体的には、前年度に引き続き「生活行為向上マネジメント」の普及を図るとともに、地域での認知症や精神障害者への地域生活移行・地域生活継続支援、発達障害児の特別支援教育から就労を含む社会参加への移行支援、様々な障害の特性に応じた就労支援、などに対応できる人材の育成を強化する。その取組みをさらに推進する方策として、新たに47都道府県委員会を設置し、作業療法に関わる課題に全国各地域で迅速に対処する体制の運用を開始する。それと共に、作業療法の普及には利用者の理解や他職種との連携が欠かせないため、当事者を含む関連団体や関連職種団体との交流を促進する。

他方、第16回世界作業療法士連盟大会の成功を契機として、アジア地域の作業療法の質的向上に寄与する。具体的には、日本作業療法学会や Asian Journal of Occupational Therapy 編集に、アジア地域の作業療法士の参加を働きかける等、国際的な学術交流を活発化する。

また、多様化するニーズや領域に対応できる作業療法を内外に明示するための定義の改定は大きな意味を持ち、会員の総意を結集して、協会設立50周年に関わる事業と並行して進めてゆく。

## 1. 作業療法の学術の発展への取り組み

- 1) 作業療法の成果抽出を促進するため、地域生活支援に特化した課題研究を推進…継続
- 2) 学術データベースの活用を促進…新規
- 3) 現行法「理学療法士及び作業療法士法」改定を視野に入れた作業療法の定義改定案を理事会に提案し、社員総会での検討に向けて準備…継続
- 4) 英語版演題登録システムを活用し、第50回日本作業療法学会からの英語セッション開始を準備…新規
- 5) Asian Journal of Occupational Therapy の海外査読者を増員し、編集体制を充実…新規

## 2. 作業療法士の技能の向上の取り組み

- 1) 地域生活支援のための医療-介護連携、障害児者の自立支援に向けた連携などをテーマにした研修会を開催…継続
- 2) 学校教育領域における作業療法士人材養成研修を実施…継続
- 3) 認知症初期・地域生活支援に対応する作業療法士の養成を推進…継続
- 4) 精神障害者の地域生活移行と地域生活継続に関する研修を推進…新規

## 3. 作業療法の有効活用の促進に向けた取り組み

- 1) 生活行為向上マネジメントを全会員に普及し関連他職種の認知度も向上…継続
- 2) 地域ケア会議への参画、介護予防・日常生活支援総合事業への参画、生活行為向上マネジメントを介護予防に応用した実践事例の収集、等を通して地域包括ケアシステムにおける作業療法士の役割（障害者支援のあり方を含む）を明示…新規
- 3) 作業療法士による就労支援を促進するため関連団体と連携…新規
- 4) 平成26年度診療報酬改定後の新設項目（心大血管疾患リハビリテーション料、地域包括ケア病棟、認知症患者リハビリテーション料、ADL維持向上等体制加算）への作業療法士の参入促進…新規
- 5) 47都道府県委員会の設置と制度対策案件に関する取り組みの開始…新規

## 4. 作業療法の普及と振興に関する取り組み

- 1) 他職種との相互理解・連携を促進するための研修会等を企画・開催…継続
- 2) 研修会等により認知症の方に対する作業療法の正しい理解と作業療法の利用を啓発…継続

## 5. 内外関係団体との提携交流に関する取り組み

- 1) アジア諸国の作業療法団体との交流、アジア諸国の作業療法団体との学術および人的交流を促進…継続

## 6. 事故や災害等により被害を受けた障害者、高齢者または児童等の支援

- 1) 東日本大震災の中心的被災地（岩手、宮城、福島）の県士会活動支援を含めた、復旧・復興活動に寄与…継続
- 2) 大規模災害に備え、都道府県士会との間で平時の連携・協体制を整備…継続

## 7. 法人の管理と運営における取り組み

- 1) 地域における作業療法普及・啓発のため、作業療法推進活動パイロット事業助成制度の成果を普及…継続
- 2) 協会設立50周年記念事業及び「日本作業療法士協会 五十年史」発行を準備…新規
- 3) 第二次作業療法5ヵ年戦略の進捗確認と見直し…新規
- 4) 災害時対応の事業継続計画（BCP：Business Continuity Plan）の一環として、京都サテライト事務所を設置し運用開始…新規



# 介護報酬改定と 保険部の対応について

島根県作業療法士会  
保険部長 秋吉 正広

平成27年4月1日に介護報酬が改定されました。今回の改定では地域包括ケアシステムの構築に向け、中重度の要介護者や認知症患者への対応の強化などの基本的な考えが示されました。その中でも「活動と参加に焦点を当てたりハビリテーションの推進」として、リハビリテーションの理念を踏まえた「心身機能」「活動」「参加」にバランスよく働きかける効果的なりハビリテーションの提供を推進することがあがり、リハビリテーション専門職の活躍が期待されています。

具体的にはリハビリテーションマネジメント加算（Ⅱ）や生活行為向上リハビリテーション実施加算、社会参加支援加算等が新設されましたが、要件としては厳しいものも多く、ハードルの高い評価となっています。

マイナス改定に加えさらに努力を強いられることになるかもしれませんが、今回の改定をリハビリテーションの成果を示す大きなチャンスととらえ、目に見える報酬にとらわれずにうまく制度を活用していただきたいと思います。

保険部としては3月末に介護報酬改定研修を実施した他、今後も情報収集・提供、相談対応等のバックアップを行いたいと思います。アンケート等情報収集のお願い等させていただくことがあるかと思いますが、ご理解とご協力をお願いいたします。また随時問い合わせ等にも応じておりますのでご利用ください。

## 〈保険部メールについて〉

協会からの情報メールを希望される方に転送しております。様々な検討会の資料や議事録、政府や厚生労働省などの公式発表などへのリンクが記載されており、スムーズな情報収集のお役に立てることと思います。

保険部へのお問い合わせ、保険部メールの配信・停止の希望は

[shimane\\_ot\\_hoken@yahoo.co.jp](mailto:shimane_ot_hoken@yahoo.co.jp) までお願いします。お気軽にご連絡ください。

## 新人職員紹介

こなんホスピタル  
リハビリ科 小島 弓依

入社して数ヶ月が過ぎました。はじめは学生気分が抜けず、何をすることも指示を受け、動くことが精一杯でした。そんなときに先輩の作業療法士さんに言われた一言が「小島さんはもう学生じゃないから、やってみたいことや、自分の考えがあるなら、どんどん挑戦してみるだわ」でした。

そう言われた時に“あ、もう自分は学生じゃなくて作業療法士なんだ”と実感しました。国家試験が終わり、あっという間に働き始めました。今は患者様一人ひとりに合った作業療法とは何か、自分には何が出来るか、と日々考えながら患者様に関わらせて頂いています。

これから沢山の壁にぶつかり、考え、悩むことがあると思いますが周りの先輩方の力を借りつつ、自分が大きく成長するために色々なことに挑戦していきたいです。

ご存じですか？

## 生涯教育ポイントの有効期限は5年ではありません!!!

2013年度の生涯教育制度の改訂により **基礎ポイントの有効期限**という考え方はなくなりました。

初回申請：入会から基礎研修修了時までの期間

更新申請：前回基礎研修修了時から次の基礎研修更新時までの期間

**いずれも5年を超えて全てのポイントを50ポイントに算入することができます。**

★★注意★★

基礎研修修了もしくは基礎研修更新という身分の有効期間はこれまでと同様5年となっているため、認定作業療法士取得研修の受講や申請が可能なのはこの5年間となります。お間違えのないように、お気を付けください。

さらにっ!!!

現職者共通研修が修了した場合、生涯教育部に申請して頂くと10テーマ分の**基礎ポイント20ポイント**を付与できるようになりました。

もし、現職者共通研修が修了しておられる会員の方がおられましたら申請をお願いします。

宛先は、〒690-8509 島根県松江市乃白町32-1  
松江市立病院 リハビリテーション技術科 川上 拓也  
「現職者研修 基礎ポイント申請書在中」と朱書き

生涯教育部では島根県作業療法士会のホームページに生涯教育関連のページを作成しました。基礎研修や認定作業療法士だけでなく、簡単ですが事例登録制度などにも触れています。

そして、日本作業療法協会のホームページも新しくなりましたね！  
県士会のホームページとあわせて、チェックしてください。

ホーム

The screenshot shows the homepage layout. On the left, there are two main sections: '一般の方へ' (For General Members) and '会員の方へ' (For Members). The '一般の方へ' section lists recent news items with dates and titles, such as '作業療法普及啓発事業 開催報告' and '島根県作業療法士会ニュース(おおはいごん)'. The '会員の方へ' section lists items like '人間作業モデル講習会' and '平成26年度 理事会議事録'. On the right side, there is a vertical sidebar with several links and PDF attachments, including '生活便利グッズ(オリジナル自働具)募集', '平成26年度活動計画', 'IT活用支援相談窓口', 'HPへの情報掲載について', and '生涯教育制度'. A red arrow with a grid pattern points to the '生涯教育制度' link in this sidebar.

## テーマ < バリアフリー展 2015に参加して >

JCHO 玉造病院 伊藤春美

4月16日から18日にかけて毎年恒例のバリアフリー展に参加するためにインテックス大阪に行きました。毎年反響のある展示会ですが今年は3日間合計95,012人の方が集まり、賑わっていました。

今回はその沢山の展示会の中でも目新しく感じた寝具の商品について一部ですが紹介したいと思います。

### 【マットレス】

Molten LIFE



今までにも裏表でマットの硬さに変化を加えるものはあったが、この商品は中間層の圧力スプリング構造により静止型マットレスでも体圧調整が可能になっており、実際に使用してみた感想としては体圧の変化に対してははっきりと違いが分かるくらいの調整幅があった。足元のダイヤルで簡単に操作可能で、何通りにも硬さを調節できるマットレスでした。

PARAMOUNT BED

cococia 結起 (ゆうき)



ベッド、マットレスを一体的に備えた商品でベッドのストレッチ構造とのリンクをメインにしていました。最近のPARAMOUNTはベッドとマットをセットで購入する傾向にあるように感じました。ギャッチアップ時、胸元に圧迫感を感じられたが、動きはスムーズで静かであり、違和感は少ないように感じました。

### 【Bed】

シーホネンス株式会社  
和夢 彩



近年、ヘッド部分のボードが上がるタイプはたくさん開発されてきているが、他社との大きな違いはスイングバックボトム構造でした。ギャッチアップ時の背ボトムが上がるのみではなく後方スライドすることで、腹部圧迫感を軽減すると共にマットレスの下方へのズレを抑制できる構造になっているように感じました。

Panasonic  
リショナー



離床が困難な方への商品。移乗を行わずに移動が出来るため、転落などの心配がなく安全。寝たきりで異常が困難な方でも楽々に車椅子で移乗できるようになるため、介助者への負担も少なく、身体機能が低下した方でも負担をかけることなく、生活の場が広がります。車いすは介助型車椅子で自走は不可。リモコン操作でフルフラットから背角75°までそのときの体調に合わせて調整可能です。

今回あげたものは寝具限定でかつ4つの商品だけでしたが、歩行車、車いすなどの歩行補助具からADL補助具まで365社が幅広く展示を行っていました。また、講演会なども開かれており、興味深い内容が豊富でした。次回来年度も「バリアフリー2016」が開かれる予定なので興味のある方は是非参加してみてください。





## 生活行為向上マネジメント推進活動と 特設委員会の設置について

島根リハビリテーション学院  
宇都宮 賢一

皆さん、こんにちは。平成26年度に引き続き、平成27・28年度生活行為向上マネジメント（以下MTDLP）の島根県推進委員を仰せつかる宇都宮です。まずこの書面をお借りし、皆さんに多大なるご迷惑をおかけしていることをお詫び申し上げます。

皆さんもご承知の通り、介護保険分野においては、生活行為向上リハビリテーション加算が今年度4月より算定できるようになりました。その算定にあたり、作業療法士の資質として「生活行為内容の充実を図るための専門的な知識若しくは経験、研修」が厚労省からのQ&A問105で示されました。算定対象基準の曖昧さや研修修了証発行について、全国の推進委員が日本作業療法士協会に意見提示をしてきました。しかし、厚労省との調整や、年度末から年度初めの時期もあり発送が遅れました。臨床現場の皆さんには大変ご迷惑をおかけし、申し訳ありませんでした。

さて、今回の介護報酬改訂やMTDLPの取り組みも、2025年の地域包括ケアシステムの構築につながっています。島根県作業療法士会（以下、県士会）総会で皆さんに承認いただいたように、県士会も地域包括ケアシステム構築に向け「地域包括ケア推進委員会」を設置することとなりました。この特設委員会は、MTDLPチームと地域包括ケアチーム、認知症初期集中支援チームが統合して設置されました。介護予防事業・認知症施策・地域ケア会議参画へ向けた方針の提示、地域包括ケアシステム関連の情報収集共有、実践者研鑽研修会の実施を目的としています。皆さんが臨床現場で少しでも働きやすく、地域事業へ参加しやすい環境の一助となればと思い、一組織としての役割を果たせるように努力してまいりますので、見守ってやってください。

MTDLPについても、この度の反省をふまえ研修制度が明確になっております。今年度の事業については、その内容に沿った研修会を実施していきます。しかし、本来、作業療法士が持つべきである「作業に焦点をおいた関わり」や「物理環境に限定しない環境の捉え方」、「作業分析の在り方」、「クライアント中心の捉え方」等が吟味されることなく、MTDLPの言葉だけが先行しているように私は感じています。島根県内だけでも、作業療法の在り方を皆さんと考えていけるような研修会を実施していきたいと思っています。その一つとして、症例検討会が多く実施できることを楽しみにしています。今年度もよろしくお願い致します。

# 全国介護老人保健施設大会 岩手に参加して

介護老人保健施設

昌寿苑 白鹿 真之介

岩手県での開催は、2011年に予定されていましたが東日本大震災により延期されました。

そして今回、雨ニモマケズ、風ニモマケズ～震災を超えてめざそう夢のある老健を～と題して10月15～17日まで岩手県の盛岡市民文化ホール(マリオス)の会場を中心に全国介護老人保健施設大会が開催され、参加させて頂きました。そこでは特別講演や震災に関する教育講演、多岐にわたるジャンルでのポスター発表や口述発表がありました。



さて、私が聴講したリハビリテーション研修会での「どうする！？地域包括ケアの拠点機能を担老健のリハビリテーション」では高齢化社会と地域包括システムについて話されましたので報告いたします。

2025年に2200万人、4人に1人が75歳以上となる事が予想される高齢化社会になると予測されています。そこで国は地域包括ケアシステムを導入し高齢者を地域の人々が皆で、支え合い一人にさせないための施策を検討しています。地域包括ケアシステムでの老健の役割として、食事や入浴、排泄などの日常生活への援助だけでなく、その人趣味・嗜好といった個別的な関わりも必要と述べていました。これは対象者となる方の生活を個々に支援するという事に繋がると感じます。

また重度要介護状態になっても自宅で自分らしい生活を最後まで続けるために、概ね30分圏内に必要なサービス介入が提供出来る施設を提供する。これらのサービスを充実させるために消費税増税分の1%で補填。また費用負担の公平化、低所得者の保険料軽減を充実させると言われていました。

現在の厚生労働省が行っている2025年問題に対する解決策としての地域包括ケアシステムの概要や介護保険制度の改正を学ぶ事が出来ました。この学んだことを切り口に2025年まで残り10年余りと時間が限られる中で、地域包括ケアシステムの内容を把握したいと思います。また作業療法士に求められていることの重要性が高いと感じました。

### 第3回 地域包括ケアのすすめ

理事会の承認を受け、今年度より特設委員会として活動します、地域包括ケア推進委員会と申します。前年度から会員の皆さんへ県内の地域包括ケアに関する情報をお伝えしていますが、第3回からは県や市町村事業に関与されている県土会員の取組について紹介します。

地域包括ケア推進委員会

## 「生活療養ノート（益田圏域版）」の ワーキングを通じて思うこと

益田赤十字病院 大賀 隆憲

今回、「療養ノート」と益田圏域での取り組みについて紹介し、地域包括ケアについて感じたことを述べてみたい。

益田保健所が所管する益田圏域では、地域リハビリテーション支援事業の取り組みとして、平成20年度より「生活療養ノート（益田圏域版）」（以下、療養ノート）を運用開始している。経緯として、平成18年度に益田圏域地域リハビリテーション行動計画が策定され、この中に、切れ目のないリハビリテーション実施体制の整備が柱の1つとして挙げられた。リハビリテーション実施体制の整備といっても、病院、リハビリテーション実施事業所は限られており、療法士数が増えることは難しい状況だった（実際、当時と比較してもあまり増えてはいない）。平成19年度より切れ目のないリハビリテーション実施体制の確立を目指し、関係機関・他職種で情報共有できるツールを検討、作成し、モデルケースでの実施を行った。平成20年度に療養ノートの普及、研修、ノートの試行運用を開始した。平成21年度、試行運用からの問題点を基に療養ノート第2版を作成し、本格運用を開始。以後、マニュアル・Q&Aの作成、ノート使用の評価などをワーキング会議で検討し、現在に至っている。平成25年度までに約300件程度作成されている。療養ノートの基となったのは、島根県介護保険リハビリテーションサービス推進委員会が作成した「在宅生活療養ノート」だが、「療養ノート（益田圏域版）」は、さらに進化している。介護サービス利用者が病院を退院し、自宅に戻る際に作成し、内容も「FIM」や機能面ばかりでなく、「ICF」の「参加」の視点での計画を取り入れられている。当事者・家族が保管し、介護事業者がノートを開覧、追記できるものになっている。上手く活用できたケースでは、1事業所のスタッフだけでなく、複数の事業所間、他職種、当事者や家族と生活目標を共有できている。稀ではあるが、入院時に療養ノートを「お薬手帳」のように持参され、入院前の情報を入手できることもある。療養ノートは地域包括ケアが発表される前から作成、活用されているわけだが、地域で高齢者を支える1つのツールとして今後も活用できると思われる。

ワーキングに参加して思うことは、一般に地域リハの事例で紹介されている所や、同じ県内でも東部と比較して、社会（医療・介護）資源に差があり、他の圏域でうまくいくことも益田圏域には当てはまらず、独自の検討・対策が必要と感じた。地域ケア会議は、「適切な支援を図るために必要な検討を行うとともに、地域において自立した日常生活を営むために必要な支援体制に関する検討を行う」とされている。地域で適切な支援を行うためには地域の実情に精通していないと検討できないであろうと思われる。ワーキング会議は、医師、PT、OTなど多職種で検討を行ったが、それぞれの得意な部分、専門性を発揮できるところは意見を求められ、コンセンサスを得られやすいと感じた。地域で高齢者を支えるためには、「生活行為のアセスメント」と「生活行為の支援」が求められている。

OTは生活を支える専門職で、OT協会は生活行為向上マネジメントに取り組んでいる。地域と関わる際には、生活行為支援の視点は必要であり、生活行為支援はOTの最も活躍できる場所ではなかろうか。

※「生活療養ノート（益田圏域版）第2版」は、益田保健所のホームページよりダウンロードできます。

ちょっと一言つぶやくわ。

### 第一回 雨待ちで…

皆様お久しぶりね。お元気にしてた？  
 少しオネエなポチャカワ(?)野郎のジャスミンよ。年齢のおかげでメタボ検診は免れているけど、限りなくクロに近いグレーね。  
 では本題。この原稿を書いている時には梅雨よ。5月は晴天に恵まれる一方、降雨不足にも悩まされたわね。恵みの雨を待ち、稲穂実る秋を待ちたいものね。  
 さて、ここではうちの職場に咲いていた植物たちの写真をのせてゆくわ。かわいい枝豆の苗よ。別名「畑のお肉」と呼ばれる枝豆。低カロリーでダイエットにも向いているそうよ。実は大豆の若いものだったなんて知らなかったわ。こうして種から育てていくと育てるという事は本当に大変な事だと痛感するわ。  
 そして芽が出た時の喜び、食べる時のうれしさは格別な物ね。患者様やスタッフみんなで協力して育てていくわ。みんなで協力すれば育てる喜びや苦労、驚き全部を共有できるし本当に素敵な事ね!!そして…みんなで美味しく頂きます!!  
 約2年ぶりに連載に帰ってきたわ。  
 若干迷走気味だけれども以降宜しくおねがいします。

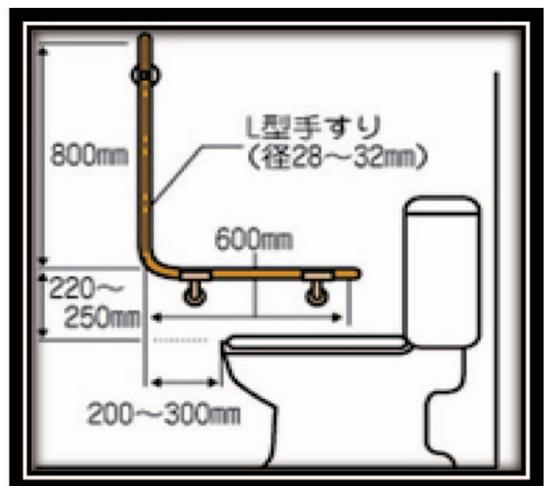


## 住宅改修

住宅改修を行うにあたり、浴室とトイレに集中する事が多いです。これは本人や家族が必要性に気づきやすく、介助場面において大変さを自覚しやすいからです。

今回は、「トイレの手すり」についての紹介をしたいと思います。トイレ時の座位姿勢が不安定な方は、長い時間便座に座っていると姿勢が崩れたり身体が傾いたりします。また、便器からの立ち上がりでの介助が必要になります。手すりの活用により介助量の軽減を図る事が出来ます。

取り付け時には立ち上がり動作を本人と行なった上で手すりの形状や取り付ける位置を決めると良いです。



## 『古民家えにし』と 作業療法士。 ～小規模デイサービスの立ち上げ～

小規模デイサービス古民家えにし  
作業療法士 岡 哲也

は関われないような事務的作業に追われる日々でした。今は、開所から5ヶ月近く経ちましたが、立ち上げに関わり、学んだことを振り返ってみたいと思います！

今年、2月11日、出雲市久多見町に新たに、小規模デイサービス『古民家えにし』が開所しました。ここに、至るまでは、何年も人が住んでいない、いわゆる‘古民家’の片付けと、開所に至るまでの、業務上の書類の整備、電化製品、福祉用具の選定。。など、臨床で



古きよき家の中には、この家に住んでおられた方の‘想い’や、価値観、生活の全てが詰まっていました。

この家人の方の生前を知らないですが、さまざまな環境を見ることで、『人らしさ』を、身に染みて、感じる事ができました。

この、生活観あふれ

る空間が、どのように在宅サービスとして提供できるのか、何度も何度も相談を繰り返しました。



古 民 家  
修繕の日々…

福祉サービスだけではなく、‘古民家’といわれたら、どんな風に捉えるでしょうか？年齢層によっては、『おしゃれ』、『懐かしい』、『落ち着く』、などさまざまな気持ちを抱くと思います。その感覚を、どんな年齢層の人にも感じてほしいんです。

「デイサービス＝施設」と感じる方のほうが多いと思います。

そんな中でも、この古民家を通して、新しい地域の‘コミュニティ’として、あらゆる人たち、『縁』でつながる、

みんなの笑顔が  
あふれる場所。



そんな空間を目指しています。定期的に、皆様に来ていただけるように、『えにしカフェ』と称して、お茶のみ会もしています。ここで、久しぶりの再会や、仲間ができた方もおられました。

あらゆる  
楽しみを再現

作業療法士として、懐かしの古民家を活かした関わり、さらに本人の力を存分に発揮できる環境を整えていくことを考えて実施しています。また、機能訓練を行って、機能的に満足することは必要かもしれませんが、その先にある笑顔を見つけるための活動を目指しています！それぞれの作業活動の要素を細分化し、治療的視点を持つことで、意味のある作業実現のためのかかわりを、少しずつスタートさせています！

## 高齢の方からのメッセージ おじいちゃん、おばあちゃんの言葉

今回の言葉は、何気ない日常の言葉に込められた思いを聞いて、  
自分自身が深く考えるきっかけとなった言葉。  
色々な経験を積んできて、乗り越えてこられた方々の本音や思いが詰まっています

長生きしてもね。  
家族の世話になるなら長生きせずにポックリいきたいわ。

集団内での会話に聞かれた一言。他の皆さんも“そげだねえ”と同じ気持ちを持っているよう。こんな言葉を聞くと少し複雑だったが、自分が年をとったらどうだろうか、相手の立場になって考えてみるといつか同じような気持ちになるかもしれない。お世話になることへの抵抗、家族の重荷になりたくない、迷惑をかけたくないと、悩んでしまうかもしれない。理解できる部分もたくさんある。でもやっぱり長生きていてほしい。不安や悩みを少しでも軽くすること、また何か楽しみを見つけたり、生きがいを持てるような環境を作っていくこと、今私たちにできることは、限られているけど、少しでも長生きしたい、お世話になるのも悪くないかなと思ってもらえるように、日々頑張っていきたいなと思いました。

あれたたちはいい時代に生まれきたね。本当にいい時代に。  
昔は食べ物もなかった。戦争は、二度としちゃいけないよ。

もう100歳になるおばあちゃん。日頃は、発語もほとんど聞かれない。でも、ふとしたときに、何度も何度もこの言葉を繰り返し伝えられる日がある。戦争の記憶が深く刻まれていることを思いしらされる瞬間でした。私たちは今、本当に恵まれているのだと、幸せな時代に生まれたのだと感じます。戦争というつらい経験を乗り越えてきた方は、本当に強くて、優しい心を持っておられ、色々なことを教えて下さいます。皆さんから教わったこと、伝えたいこと、その1つ1つを私たちは忘れてはいけない、そしてこれからにつなげていかなければいけないのだと思いました。

# 査読アンケート結果報告

26 年度から実施しています査読について、第 9 回学会演題発表者の方にアンケートを実施しました。遅くなりましたが報告させていただきます。

## アンケート内容と結果（アンケート回収数 10）

### ①査読結果に応じた演題修正期間：

非常に短い・短い 4 ちょうど良い 1

### ②査読基準の内容：

わかりやすい 9 わかりにくい 0 どちらともいえない 1

### ③査読結果の通知内容：

わかりやすい 6 わかりにくい 2 どちらともいえない 1

### ④希望する査読結果の通知方法：メール 10 郵送 1

### ⑤その他意見

- ・安心して望める。参考になりとてもよかった。
- ・3名の査読者がいましたがそれぞれで「未修正」「再修正」と記載され、修正したほうが良いのか悩むことになる。査読者よってコメントの内容が大きく異なっていた。
- ・規程が不明な点があり、OT 協会の学術誌を参考にして投稿した。
- ・査読があることがわからずメールに気付くのにも遅くなってしまい少し困惑した。演題募集の時点で査読があることを連絡してほしい。

修正期間 1 週間の予定でしたが、実質 2~5 日で修正をしていただく状況に。短いという意見多数。

1 演題を 3 名の委員で査読しており、判定は同じだが査読委員によって指摘事項が異なる場合が。指摘事項を集約せず報告した結果混乱させてしまいました。

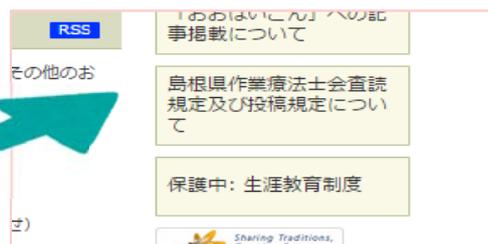
広報不足でした。

県士会として査読体制を整え初めての査読運用ができました。ご協力いただいた皆様ありがとうございました。皆様の貴重なご意見をもとに、今後も投稿いただいた演題がより良いものになり、島根県士会全体の学術的発展につながるよう査読体制を整えていきたいと思ひます。会員の皆様も今一度査読基準等ご確認いただければと思ひます。

学術部 中林 章子



県士会ホームページで確認いただけます！



## 新理事の横顔

平成 27・28 年度、事業部副部長をさせて頂くことになりました、出雲市のえだクリニックに所属しております陶山幸弘です。

6 年ぶりに県士会の役をさせていただきます。400 名以上の会員数とのことで、会員の方がすごく増えられ、組織のとしても大きくなっていました。



OT に求められるものも、年々変化し増えているように感じています。事業部では主に新人の方への合同研修会（今年度は summer lecturer として開催予定）、県民普及事業、福祉用具と IT 機器に関する専門部会を担当させてもらっています。

日々の継続的な臨床の中で、基礎的な知識・技術の重要性を特に感じております。専門部会は現在 2 部門ですが、さらなる拡充が図っていただければと考えております。

堀江部長を始め部員の方々と協力して、会員の方が参加して見たいと思えるそして参加して見て有意義であったと思えるイベントを企画していただければと考えています。

県士会員の皆様のお役に少しでもたてるように頑張っていきますので、2 年間どうぞよろしくごお願い致します。

### 財務部より

#### ☆☆☆会費納入について☆☆☆

県士会会費納入はお済みですか？  
今一度ご確認の上、納入が完了していない方は速やかにお振込み下さい。

未納3年を超えると退会となることがあります。  
ご確認の上、速やかにお振込下さいますようお願いいたします。

#### 編集後記

今年度最初のおおはいごんになります。気温がなかなか上がってこないせいか、いまひとつ調子が出ない気がします。

「おもしろき こともなき世に おもしろく」とは高杉晋作ですが、こんな時だからこそ自分から頑張っていかなければと思う今日この頃です。

少ないながらも広報部員全員で頑張っていきますのでよろしくごお願いいたします。

平成26年9月1日 現在 施設数112 会員数392名

一般社団法人 島根県作業療法士会ニュース 年3回発行

□編集担当 石倉健一・白鹿真之介・岩田竜太・江角奈緒子・遠藤早紀・飛田翔子・妹尾麻美・  
大中信祐・岡 哲也・足立貴哉・有田里穂

□投稿（400 字程度）、提案、情報提供を歓迎します。

発行所 〒 699-1511 島根県仁多郡奥出雲町三成 1625-1

一般社団法人 島根県作業療法士会広報部 島根リハビリテーション学院 (TEL 0854-54-0001 FAX 0854-54-0002)

発行者：泉 靖司／編集者 石倉健一・白鹿真之介

印刷：障がい者支援施設 授産センターよつば（〒 690-0131 松江市打出町 43）